
Presented by PCee II for adult only
SEX
ダイブ
ビルダーズ
-SEX DIVE BUILDERS-
さら
18

ＧＢＮに新たなる不正デカールが出回っていた

ソレはエクスタシーデカールと呼称された特殊なバグで主に女の子ダイバーを
狙って使用されていた

現実では体験できない超変態行為をＧＢＮのシステムを利用し一部安全装置を解除し
体験、悶絶させ楽しむというモノだった

ＧＢＮ内での事なので身体に被害は無いと気軽に興味本意で誘いに乗る女の子が続出

またポイントの大量寄与などでも誘っていたようで、こちらのポイントは本物のため
かなりの上位ランカーもコレを使用し変態行為を楽しんでいると推察された

運営は彼等をエロ・ダイバーと呼称し問題視し駆逐する事にした

しかし、時すでに遅しの感有りと思えるほどに…被害は拡大していた

そしてソノ被害はココ、ビルドダイバーズにも広がっていた


被害者：モモ（ビルドダイバーズ所属）

ポイントに誘われてモモはＥＸエリアに誘い出された
ソコには30人ほどのＥＸ-Ｄ使用者エロ・ダイバー（つまり変態さん）がいた
ポイントは彼らが出し合った本物だった

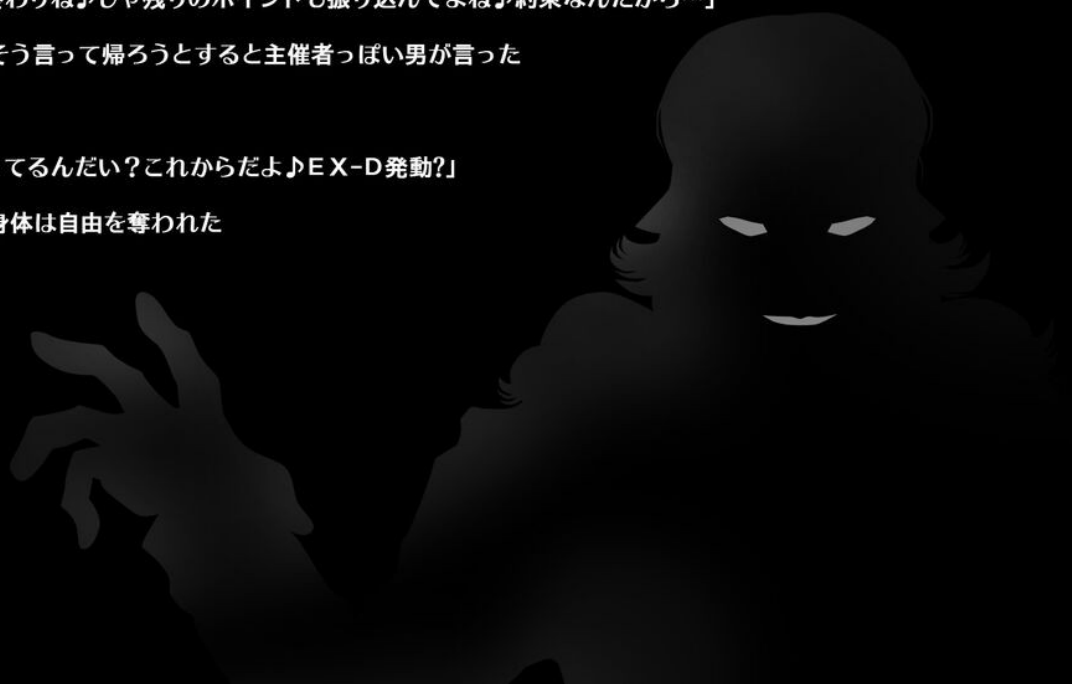
モモはソコで水着になり撮影会のような事をさせられていた

「これで終わりね♪じゃ残りのポイントも振り込んでよね♪約束なんだから…」

モモがそう言って帰ろうとすると主催者っぽい男が言った

「何を言ってるんだい？これからだよ♪ＥＸ-Ｄ発動?」

モモの身体は自由を奪われた




「何ぃ？ちょっとヤダァ～動けないよぉ～コレどういう事？」
ＥＸエリアでは変態さん達の人形だった…
更に身体が火照り始めた


「あああああん嫌ぁあああぁ〜」
モモは水着を脱がされた…
「おおっ♥」「マンコ凄い綺麗だぞ♥」

「どうやら♫きちんと指定した医療用のスキャナーも使用してダイブしてくれたようだね♪」

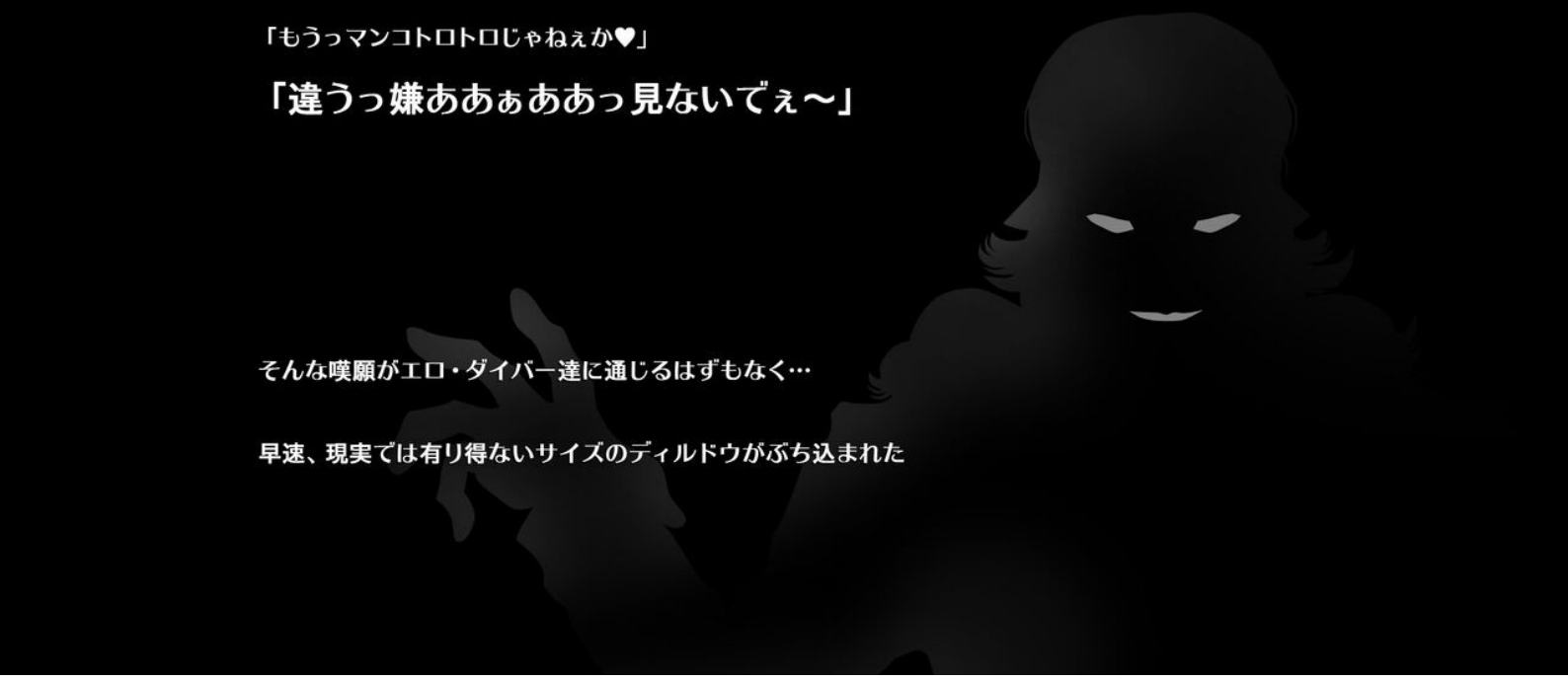
「馬鹿がまんまと引っかかりやがって♫お陰でテメェのマンコも正確に投影されているんだぜぇ♥」
ＥＸ-Ｄ完全発動には精密な身体スキャンが必要だった

「嫌ぁあああぁ～」

律儀にモモは（通常のガンプラに+して）指定されたソレも使用してダイブしていた
ＥＸ-Ｄの効果で感度も即効でＭＡＸまで上がっていた

「もうっマンコトロトロじゃねぇか♥」

「違うっ嫌あぁぁあっ見ないでぇ～」



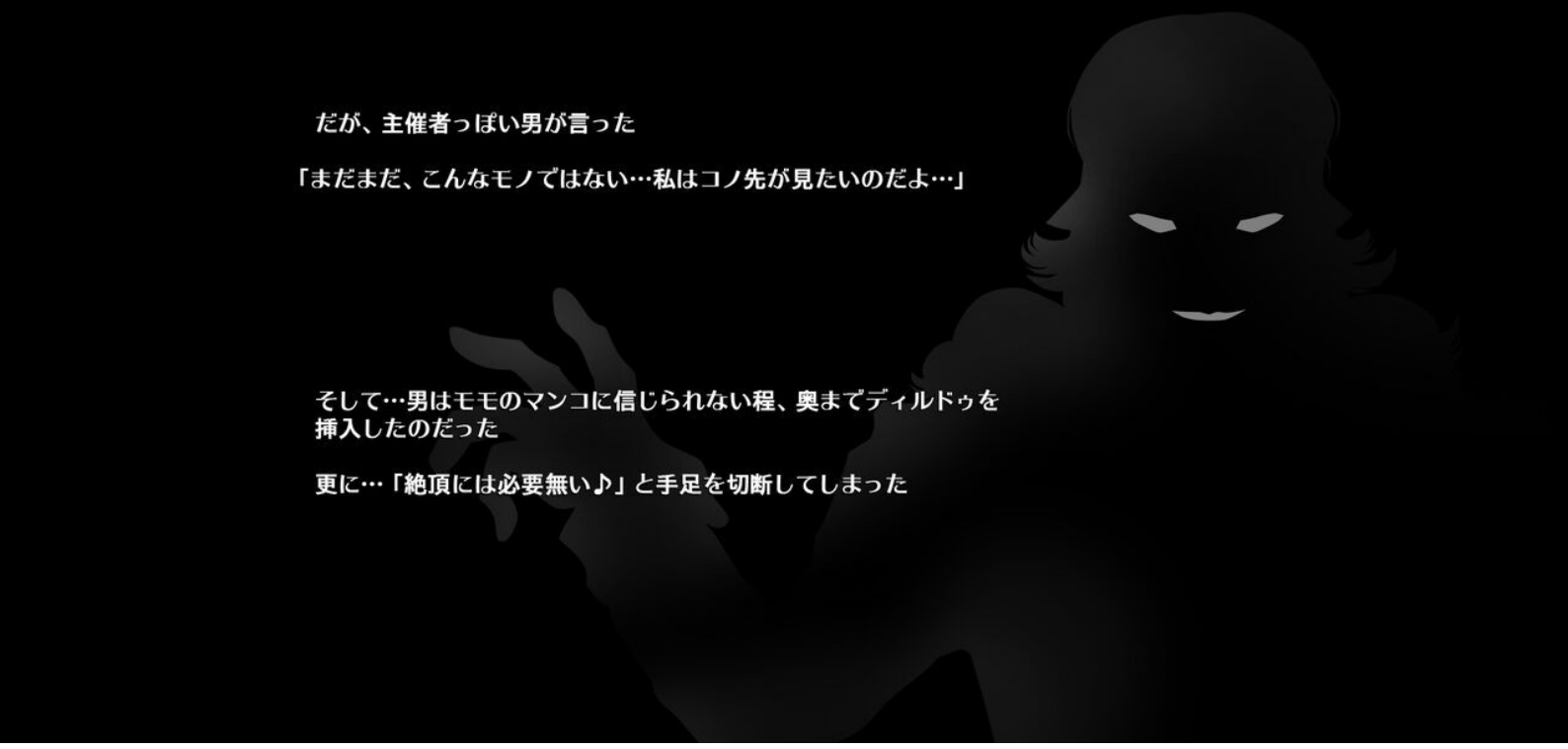
そんな嘆願がエロ・ダイバー達に通じるはずもなく…

早速、現実では有り得ないサイズのディルドウがぶち込まれた


「ぎゃあああああああぁ～」
「うひゃあぁ♪いきなりぃ♥」「こいつ処女だろうにぃ♥」

「美少女の悶絶(^^♪たまんねぇぜ♥」

「まだC学生だろ♫この娘…いきなリコレはトラウマ確定だな♪」



だが、主催者っぽい男が言った

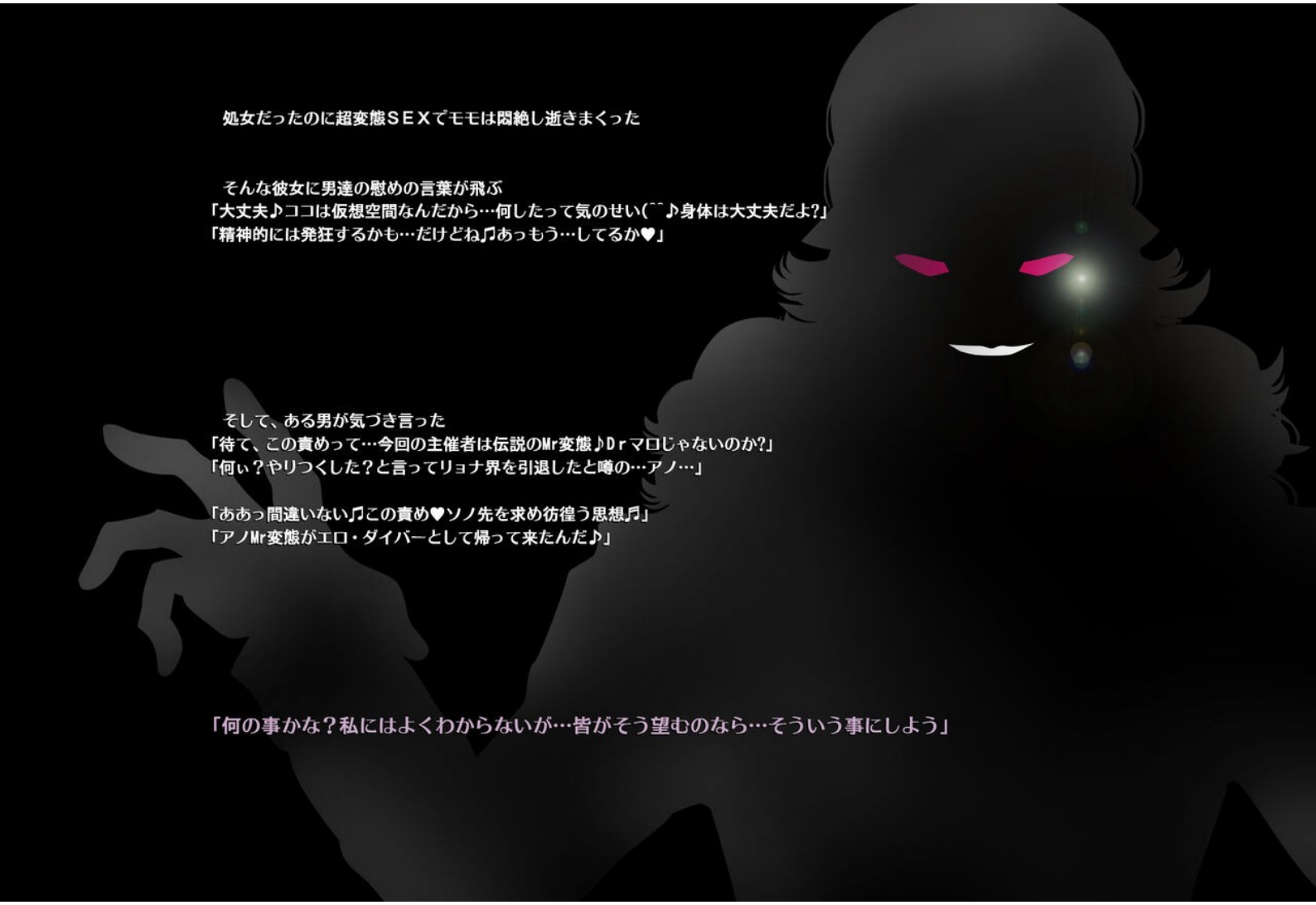
「まだまだ、こんなモノではない…私はコノ先が見たいのだよ…」

そして…男はモモのマンコに信じられない程、奥までディルドゥを挿入したのだった

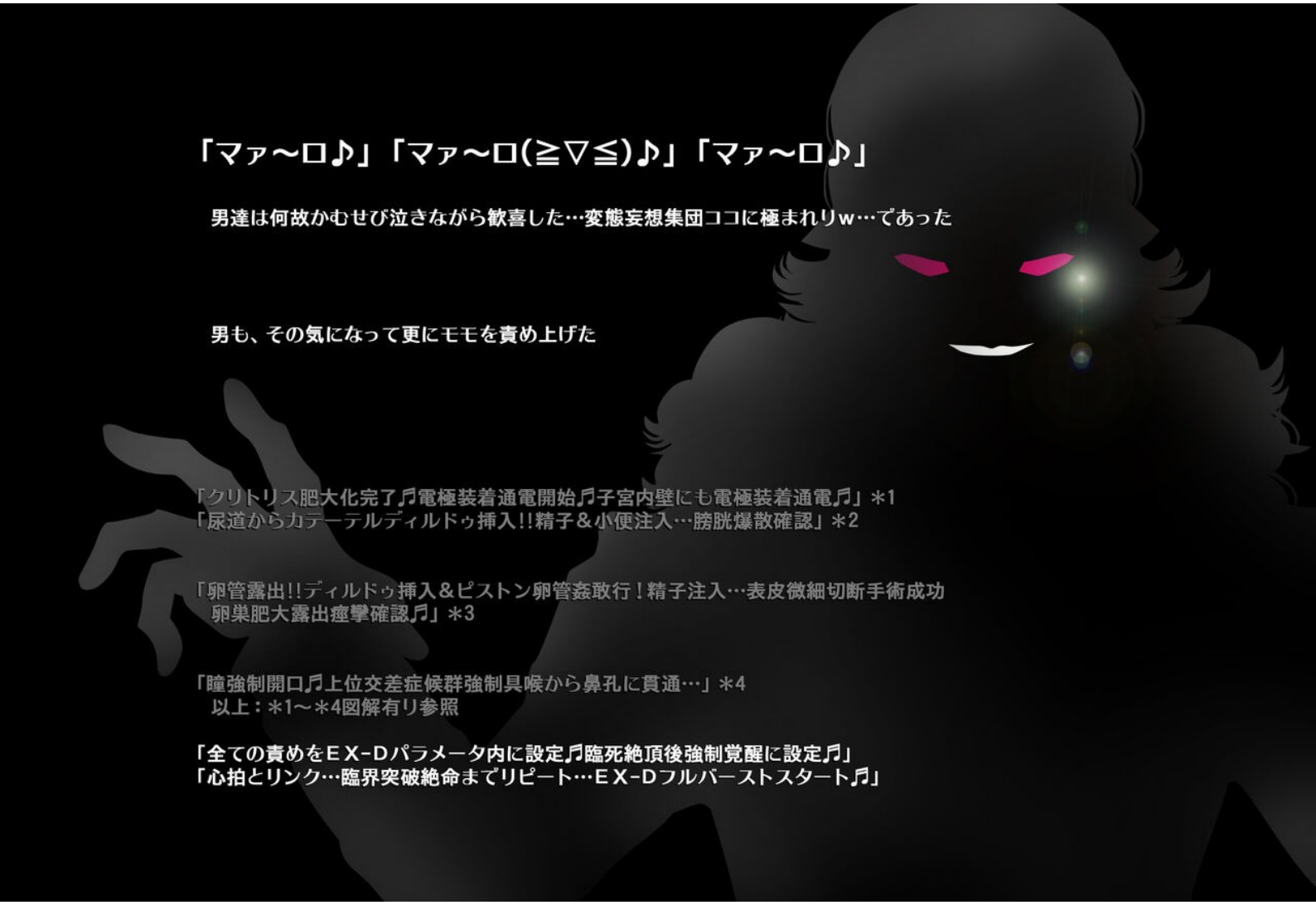
更に…「絶頂には必要無い♪」と手足を切断してしまった


人とは思えない獣のような悲鳴を上げ悶絶するモモ
主催者らしき男の責めは続く


乳首、尿道まで犯され絶頂悶絶するモモ…
ＥＸ-Ｄの効果で激痛も快楽に変換して全身を駆け巡っていた


処女だったのに超変態ＳＥＸでモモは悶絶し逝きまくった
そんな彼女に男達の慰めの言葉が飛ぶ
「大丈夫♪ココは仮想空間なんだから…何したって気のせい(^^♪身体は大丈夫だよ?」
「精神的には発狂するかも…だけどね♫あっもう…してるか♥」
そして、ある男が気づき言った
「待て、この責めって…今回の主催者は伝説のMr変態♪Ｄｒマロじゃないのか?」
「何ぃ？やりつくした？と言ってリョナ界を引退したと噂の…アノ…」
「ああっ間違いない♫この責め♥ソノ先を求め彷徨う思想♫」
「アノMr変態がエロ・ダイバーとして帰って来たんだ♪」
「何の事かな？私にはよくわからないが…皆がそう望むのなら…そういう事にしよう」


いっちゃぁぁ
ぁぁぁぁ
ビュルルル
ビュルルル
ビュルルル



「マァ～ロ♪」「マァ～ロ(≧▽≦)♪」「マァ～ロ♪」

男達は何故かむせび泣きながら歓喜した…変態妄想集団ココに極まれりw…であった

男も、その気になって更にモモを責め上げた

「クリトリス肥大化完了♬電極装着通電開始♬子宮内壁にも電極装着通電♬」＊1
「尿道からカテーテルディルドゥ挿入!!精子＆小便注入…膀胱爆散確認」＊2

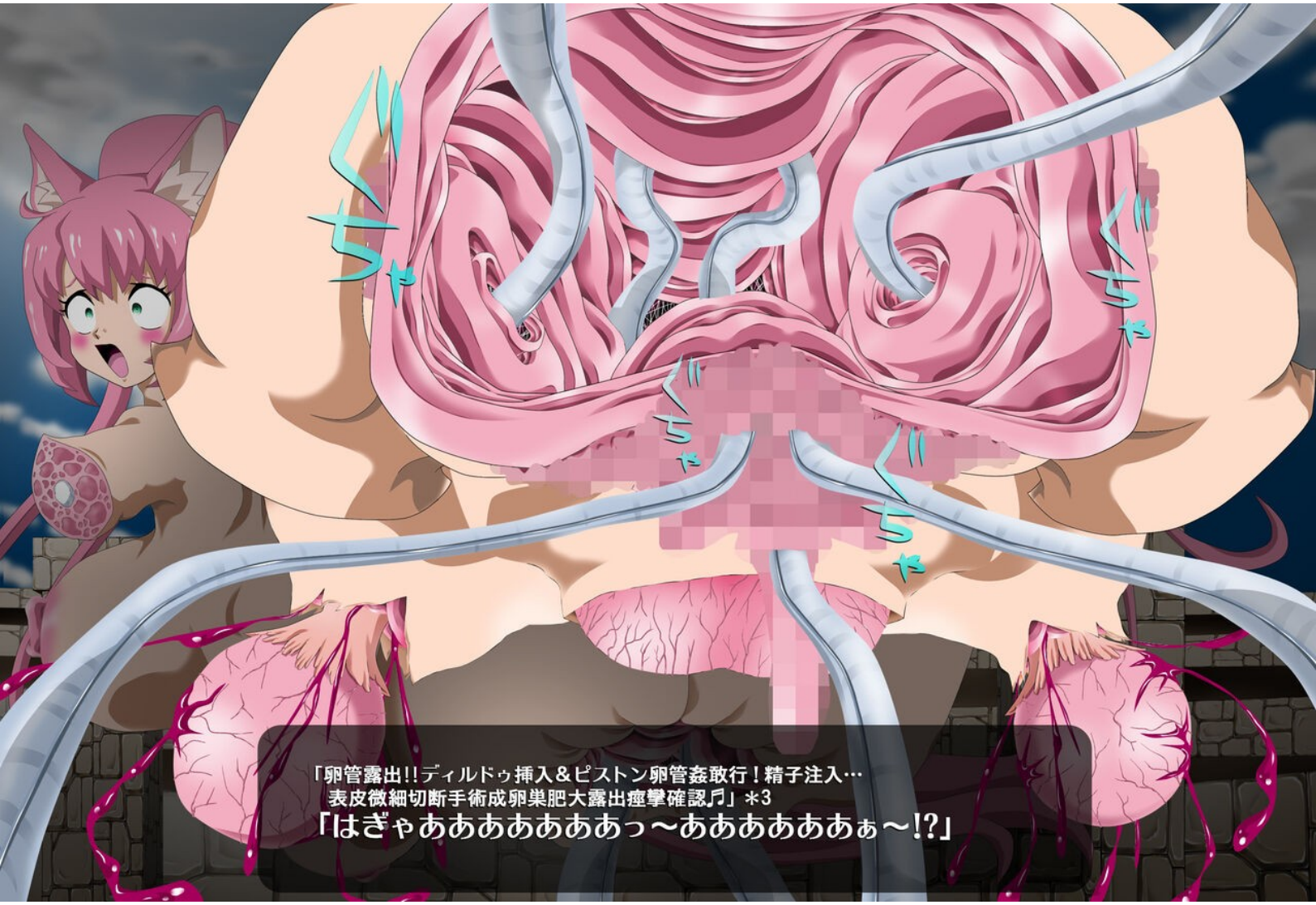
「卵管露出!!ディルドゥ挿入＆ピストン卵管姦敢行！精子注入…表皮微細切断手術成功
卵巣肥大露出痙攣確認♬」＊3

「瞳強制開口♬上位交差症候群強制具喉から鼻孔に貫通…」＊4
以上：＊1～＊4図解有り参照

「全ての責めをＥＸ-Ｄパラメータ内に設定♬臨死絶頂後強制覚醒に設定♬」
「心拍とリンク…臨界突破絶命までリピート…ＥＸ-Ｄフルバーストスタート♬」


「クリトリス肥大化完了♫電極装着通電開始♫
子宮内壁にも電極装着通電♫」＊1

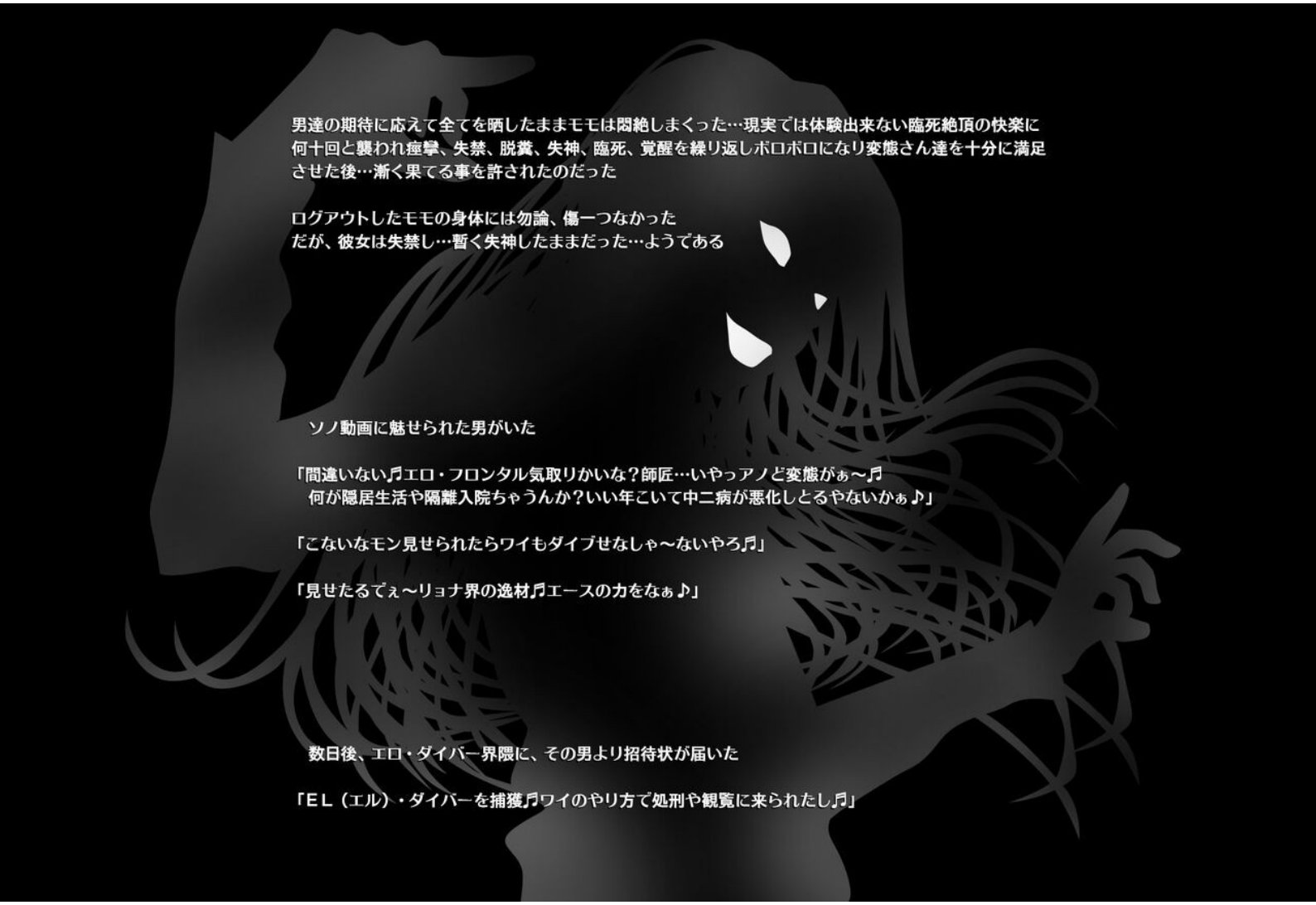

「尿道からカテーテルディルドゥ挿入!!精子＆小便注入…
膀胱爆散確認」＊2
「卵巣姦敢行♪」
「痛っ!?ダ…ダメェ～オマンコがぁ私のオマンコがぁ～!?」


「卵管露出!!ディルドゥ挿入＆ピストン卵管姦敢行！精子注入…
表皮微細切断手術成卵巣肥大露出痙攣確認♬」＊3
「はぎゃあああああああっ～あああああああぁ～!?」


お願い、もう許して…
死んじゃう、本当に死ぬわ
「かまわないよ♫臨死体験しながら絶頂してくれたまえ…♥」
男はそう言って責め続けた
「嫌ぁあああああああぁあああっ!?」


「瞳強制開口♬上位交差症候群強制具喉から鼻孔に貫通…」
「おおっ!!何だソレ!?新たなる指針か♪」「猫背矯正だとぉ!?」
「健康志向（嗜好）かぁ!?」(；`д´)


ボキボキボキボキ
ガラガラ
モモはＧＢＮ内での全ての活動を停止した…絶命である



男達の期待に応えて全てを晒したままモモは悶絶しまくった…現実では体験出来ない臨死絶頂の快楽に何十回と襲われ痙攣、失禁、脱糞、失神、臨死、覚醒を繰り返しボロボロになり変態さん達を十分に満足させた後…漸く果てる事を許されたのだった

ログアウトしたモモの身体には勿論、傷一つなかった
だが、彼女は失禁し…暫く失神したままだった…ようである

ソノ動画に魅せられた男がいた

「間違いない♬エロ・フロンタル気取りかいな？師匠…いやっアノど変態がぁ～♬
何が隠居生活や隔離入院ちゃうんか？いい年こいて中二病が悪化しとるやないかぁ♪」

「こないなモン見せられたらワイもダイブせなしゃ～ないやろ♬」

「見せたるでぇ～リョナ界の逸材♬エースのカをなぁ♪」

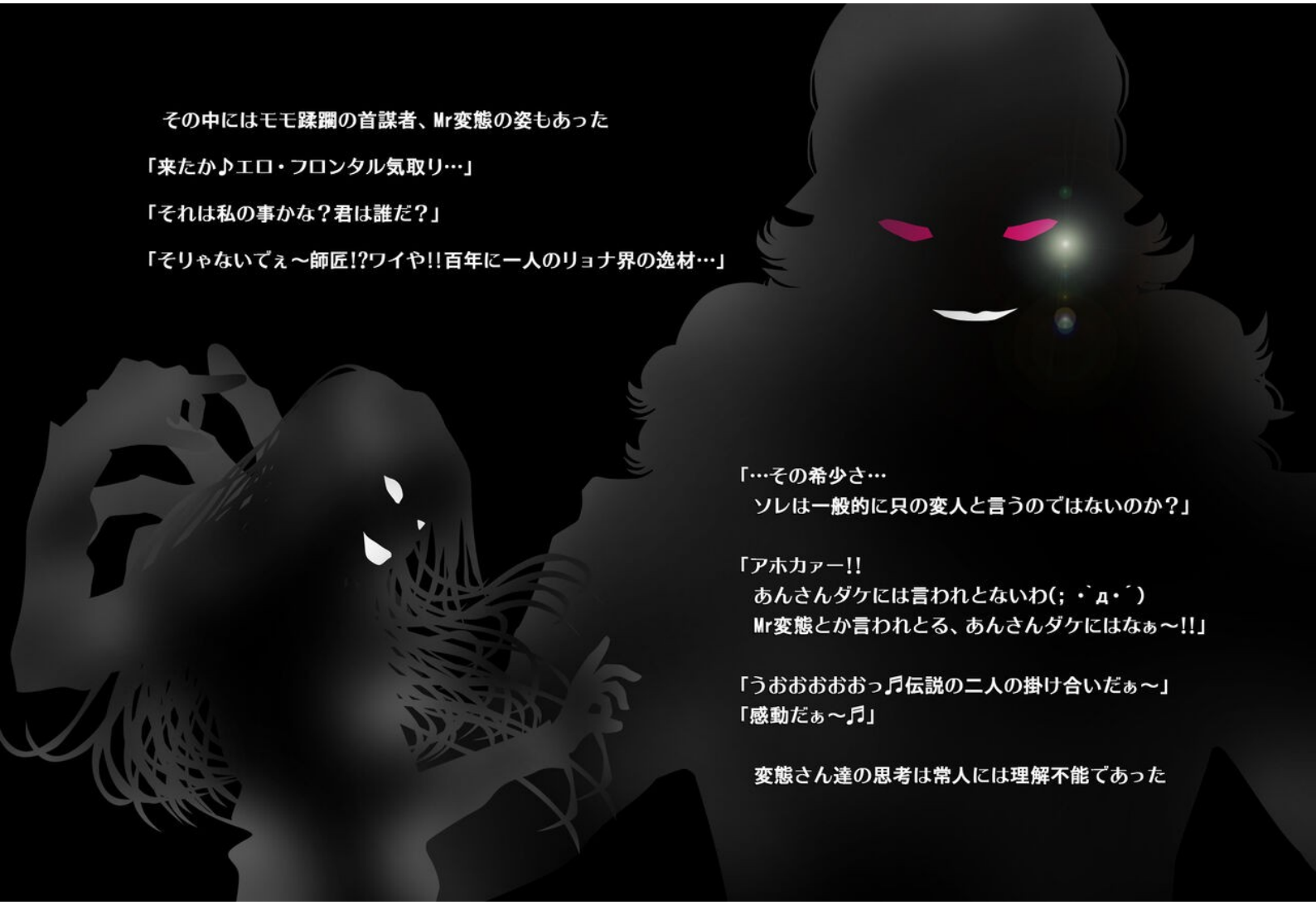
数日後、エロ・ダイバー界隈に、その男より招待状が届いた

「ＥＬ（エル）・ダイバーを捕獲♬ワイのやリ方で処刑や観覧に来られたし♬」

被害者：サラ（ビルドダイバーズ所属）


「これよりＥＬ（エル）・ダイバーの処刑を敢行や♪」
「ハイ…皆さんのためなら…私は消えます…」
「いい覚悟や♬その前にワイらを楽しませてや♬」
「ハイ…お好きにどうぞ…」


「うおおおお♥いきなり素っ裸で拘束とは♬首謀者はどんな変態なんだぁ♪」
「今回の首謀者はリョナ界のエース、
ＡＣＥ・マイスターらしいぞ♬」
「なんだとぉ♬百年に一人の逸材がＧＢＮに降臨かよ♪」
「だが…どうやってサラって子を拉致ったんだ？
確か運営に捕獲されていたはず…」
「ダイバー不明のブリッツガンダムのカスタム機に攫われたって運営が騒いでいたぞ」
その通りであった愛機マイスターブリッツ
（ビルダースキルによる超高性能機ブリッツガンダムのカスタム機）
を使いサラの拉致に成功していたのだった
「凄腕のガンプラ・マイスターでもあるとの噂は本当だったのかぁ♪」
「うおおおおおおおっ♬こいつは凄い責めが見れそうだぜ♪」
「マァイスタァ♪」「マァイスタァ(≧▽≦)♪」「マァイスタァ♪」
期待に胸を膨らませた変態さんが多数詰めかけたＥＸ-エリアは大いに盛り上がっていた

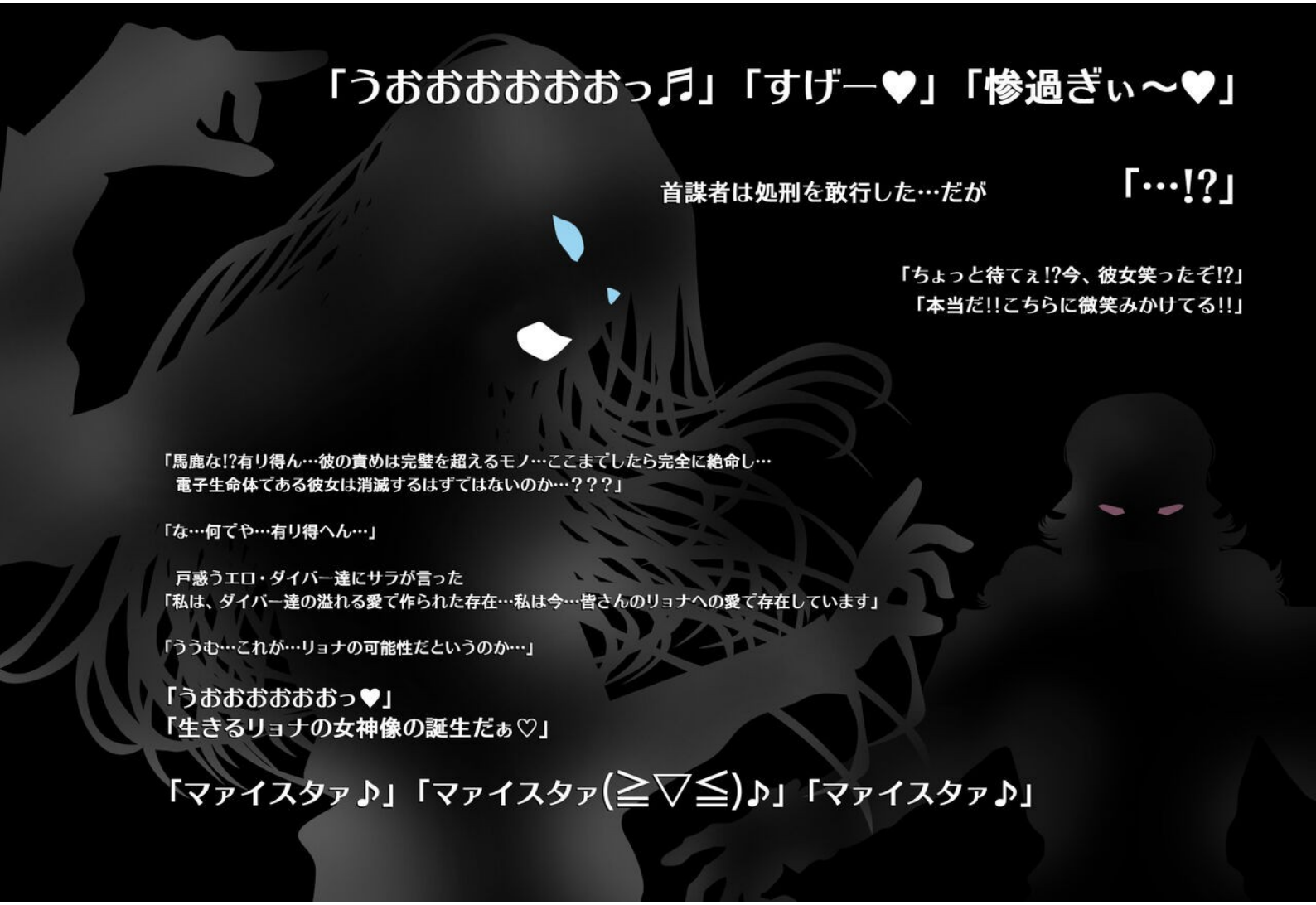

その中にはモモ蹂躙の首謀者、Mr変態の姿もあった
「来たか♪エロ・フロンタル気取り…」
「それは私の事かな？君は誰だ？」
「そりゃないでぇ～師匠!?ワイや!!百年に一人のリョナ界の逸材…」
「…その希少さ…
ソレは一般的に只の変人と言うのではないのか？」
「アホカァー!!
あんさんダケには言われとないわ(；・`д・´)
Mr変態とか言われとる、あんさんダケにはなぁ～!!」
「うおおおおおっ♬伝説の二人の掛け合いだぁ～」
「感動だぁ～♬」
変態さん達の思考は常人には理解不能であった


男はサラの手足を切断し超巨大ディルドゥを容赦なくぶち込んだ
「おおおっ♬いきなりかよ～」「スゲー♥」
「超巨大ディルドウを完全自作だとぉ♬」
「ワイは苦痛に歪む顔が見たいんや♬ほなっ行くでぇ～」


「はがぁあああああああああああああぁ～」
悶絶するサラ…


「おおおっ♥スゲー♬」(≧▽≦)
「美少女の顔面崩壊♥コレだよコレぇ～♥」
「やるなっ♪」
「更に出来るようになった…最早、私では…いいやっまだ…私とて…」
エロ・ダイバー達が歓喜し驚愕の声を上げる…
ソレを遮るように主催者の男が言う
「まだまだやぁワイがこんなモンで満足する訳無いやろ♬」
「よう見とき♬ワイがソノ先を見せたるわ～」
「なんとぉ!?」
「馬鹿な!?まだコノ先が在るだと…」
「処刑やぁ♥」




「うおおおおおおっ♬」「すげー♥」「惨過ぎぃ～♥」
首謀者は処刑を敢行した…だが
「…!?」
「ちょっと待てぇ!?今、彼女笑ったぞ!?」
「本当だ!!こちらに微笑みかけてる!!」
「馬鹿な!?有り得ん…彼の責めは完璧を超えるモノ…ここまでしたら完全に絶命し…
電子生命体である彼女は消滅するはずではないのか…？？？」
「な…何でや…有り得へん…」
戸惑うエロ・ダイバー達にサラが言った
「私は、ダイバー達の溢れる愛で作られた存在…私は今…皆さんのリョナへの愛で存在しています」
「ううむ…これが…リョナの可能性だというのか…」
「うおおおおおおっ♥」
「生きるリョナの女神像の誕生だぁ♡」
「マァイスタァ♪」「マァイスタァ(≧▽≦)♪」「マァイスタァ♪」


処刑は新たなる女神を生みエロ・ダイバーを狂喜乱舞させ…
その幕を閉じたのだった

処刑は完了した…だが、サラは消える事はなく…
そのままの姿でソコに偶像崇拝の対象として設置（放置）されたのだった

エロ・ダイバー…
その行動様式は、やはり常人には理解不能であった

シンボル（サラ女神像）を得て勝手にＧＢＮ内において市民権を得たと
勘違いした彼等は活動を活発化させた

□■□■□■


（違うのぉ…嫌ぁ…見ないでぇ…）
「スゲーまだピクピク生きてるぜ…」
「コレがエクスタシー・デカールの効力か!?」


被害者：ステア（アークエンジェルズ所属）
「嫌ぁあああぁ～助けてぇ～カナリィ～」
彼女は発狂しながら親友の名を呼んだ…しかし、その親友も

ステアが名前を呼んだ同じアークエンジェルズに所属する
親友のカナリもまた、既に破壊され…別の場所に吊るされていたのだった

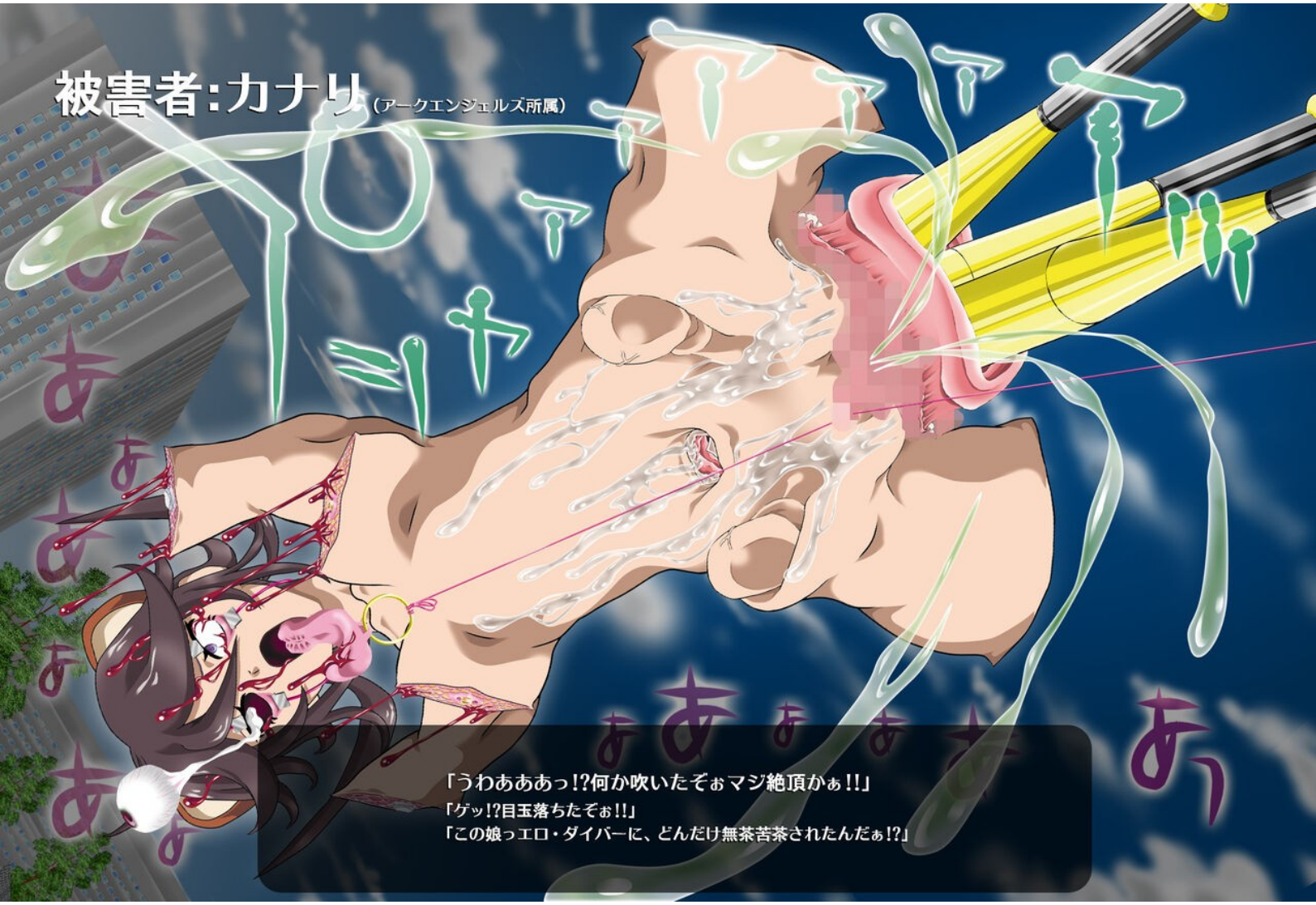
「うわあああっ!?何だぁアレェ～!?」

（ステア…ゴメン…私…もうっ…駄目ぇ…）



（あ…あああああぁ…嫌ぁ…皆っ見てるのに…いっ…逝ぐぅ…）

「スゲーこの女、この状態で逝ってんじゃね!?」
「流石ＥＸ-Ｄを使う様な女♪とんでもねぇド変態じゃん♥」


被害者:カナリ（アークエンジェルズ所属）
「うわあああっ!?何か吹いたぞぉマジ絶頂かぁ!!」
「ゲッ!?目玉落ちたぞぉ!!」
「この娘っエロ・ダイバーに、どんだけ無茶苦茶されたんだぁ!?」

二人は現実では有り得ない痴態を晒し発狂しながら逝き果てた
その姿に興奮したエロ・ダイバー達は完全に調子に乗った

「ぬおおおぉ♪リョナってるぅ♪最高♪」
「グロだぜ～♪」
「エロとは違うのだよ♪エロとはぁ～♪」

「エロい連中には、わからんのですよ♪あんなモノ飾りだという事が…
この状態でも100%性能は出せます♪」

「あっはははっ♪リョナ最強だぜ♪」

□■

運営はエロ・ダイバーの中でも特に猟奇的嗜好を好む集団を新たに【グロ・ダイバー】と呼称し
その行動を特別警戒監視下においた…

だが、彼らの行動は把握できず、警戒監視をあざ笑うかの様に

また一人…新たな犠牲者が出るのだった

被害者：ナミ（ビルドダイバーズ所属）



まだダイバーとして日の浅い彼女はＧＢＮの現状をよく把握できておらずポイントに釣られ
あろう事か、グロ・ダイバーの誘いに乗ってしまったのだった

「おおおっ♪スゲー可愛いぞ♥」「スタイルたまんねぇ～(≧▽≦)」
（うわぁ～凄い嫌らしい目でみられてるぅ～キモ～キモ過ぎるぅ～）
「Ｄｒ＆マイスター、ここは我々に、おまかせください♪」
「ええでぇ♪なぁ」　「ああっかまわんよ」
（でも、まぁいいか…どうせＧＢＮ内の事だし…何か面白いし…）

彼女は大人なのでヌード撮影くらいは興味本位で覚悟していた
仮想空間での事と気軽に乗ったのだが

その想定したエロ行為は最初の一撃で凌駕されるのだった


ぁぁぁ



「ヤベッ♪乳首千切れちまった♥ＤｒマロやＡＣＥマイスターみたいにはいかないなぁ～♪」
「いやっ♪素晴らしい」　　「あぁ♪これはこれで凄いっいいんでないか♪」
「ハイ♪お褒めいただき光栄です♪」

（嘘よ…こんな事…あっていい訳が…無いわ…誰か助けてぇ…お兄ちゃん…）
グロ・ダイバー達の玩具にされ悶絶するナミ…


「うおおぉ♪スゲー♥全体液噴出＆脱糞絶頂♪キター」(≧▽≦)/
「♥♥♥美人お姉さん木っ端微塵♥♥♥」

「うおおお♪スゲー♥現実では有り得ない
快楽で美人お姉さん失神崩壊絶頂♪」

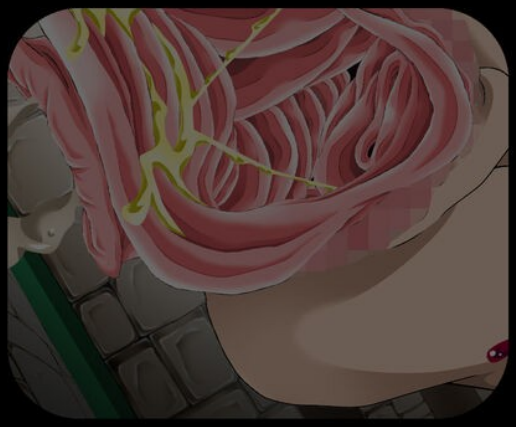
「生きた死体みてぇ♪たまんねぇ～♥」

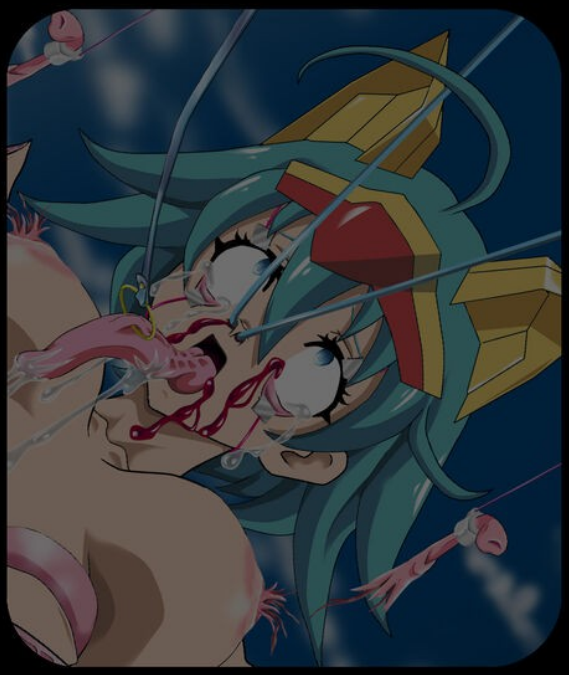
「リョナ万歳♪」(≧▽≦)/

「おおっ♬～皆、ヤルやないかぁ♪さぁ次の獲物の物色やぁ♥」

「ふっ♪まだだっまだ、終わらんよ♪」

「おおおっ♪」(≧▽≦)/





その動画を見て憤慨する女の子ダイバーが一人

「ナミさん…まで…グロ・ダイバー共がぁもうっ…絶対っ許さない…」

調子に乗ったグロ・ダイバー達の愚行を粉砕すべく
彼女は行動に出たのだった

被害者：アヤメ（ビルドダイバーズ所属）

彼女は運営と共闘し、その身体にアンチ・ＥＸ-Ｄパッチを装備し囮捜査に着手したのだった

だが、運営内にも（下っ端にではあるが）ＥＸ-Ｄ使用者が潜伏しているらしく潜入捜査官である事は最初から知られていた

グロ・ダイバー達がこんな美味しいシチュエーションを逃すはずも無く…
アヤメは、まんまと捕らえられ拷問されるのだった

「運営はどこまでＥＸ-Ｄの事をつかんでるんや？」


「そんな事、知らないわ…例え知っていたとしても貴方達なんかに話す訳ないでしょ…」
「おおおっ♪素っ裸キター(≧▽≦)」
「ソノ強気が、たまんねぇ♪」



「察するに…彼女にはパッチを当てて探索させている状況からＥＸ-Ｄを無効化する
　修正パッチの製作は進行しているようだが、ココや使用者の特定には至ってないと
　いったところか…」

「ならば、今の内に十分に楽しませてもらおうではないか♪君の身体で」
「せやな♪そんなパッチ、ワイが外したったわ♪さぁどこまで耐えられるか？見ものやな♪」

「おおおっ！Mr変態＆リョナの逸材の共演だぁ♪」


ぎぃぃぃぁぁぁぁぁぁ
「うおおおっ！いきなりぃ♥」
「切断＆全穴♫キター」(≧▽≦)/



「お願いぃ～もうっ許してぇ～何でも話しますぅ～」
「もうっgive upかよ♪」「くノ一拷問♬たまんねぇ～♥」
アヤメは知っている情報を全て話した…が、グロ・ダイバー達が許すはずもなく

「ぶっ壊す前に各*チンプラ*でヤッチャテもいいっすか♪」「俺ら、もうっ我慢出来ねぇ～♬」
「そ・・・・そんな・・・・話が違う・・」
「かまわんよ♪好きにしたまえ」　　「せやな♪ろくな情報なかったし～」

「嫌ぁあああああああぁあああああっ!?」

*チンプラ*とはガンプラならぬチンポ、プラモの略であるエロ・ダイバーはカスタマイズした自らのチンプラを所有w

今回の拷問イベントには50人程が参加していた…そのグロ・ダイバーのチンプラが
アヤメに襲い掛かった

アヤメの全穴は彼等の性処理玩具と化した

拡張されたマンコは子宮内はおろか卵管、卵巣にまで侵入をゆるした
口、アナル、ニプル（乳首）、尿道、そして臍にまでに挿入された

それら全てを同時に犯されるというリアルでは有り得ないプレイにグロ・ダイバー達は
狂喜乱舞した

アヤメは、その腐った想いを一人でその身体に受け止め悶絶するのだった


ズコ
ズコ
ズコ
ズコ
んぐぅぅぅ!?
チンプラは各グロ・ダイバーの神経と直結していてアヤメの性器の感触を伝える
「子宮姦とかたまんねぇ～感触だぜぇ～♥」　「乳房もいい♥」
「尿道も最高締まってやがるぅ～♥」　「俺様は膣姦だぜぇ～♪」


アヤメの絶頂に合わせる様にグロ・ダイバー達は一斉に射精した
「気持ちいいぃ～♥」　「集団くノーＦＵＣＫ最高ぉ♥」
「いっ…逝ぐぅうううううぅ!!またっ…逝ぐぅうううううぅ～!♪」


アヤメは精子を垂れ流しながら半失神状態で許しを請うた
「もう…無理ぃ…お願い…許ひれ…くらひゃ…い…」
「まだまだぁこれからなんだよ♥」
「寝てんじゃねぇよ♪もっと楽しませろよ♥」

グロ・ダイバー達はアヤメとの超変態ＳＥＸを楽しみ次々に射精して逝った
彼等はリアルでもコックピット内で大量に夢精（射精）していた

リンクは完璧に機能しているようだった

「次は俺、卵管入れます♪」「じゃ俺、尿道♪」
ソレはー、二度では治まらず何度も繰り返された

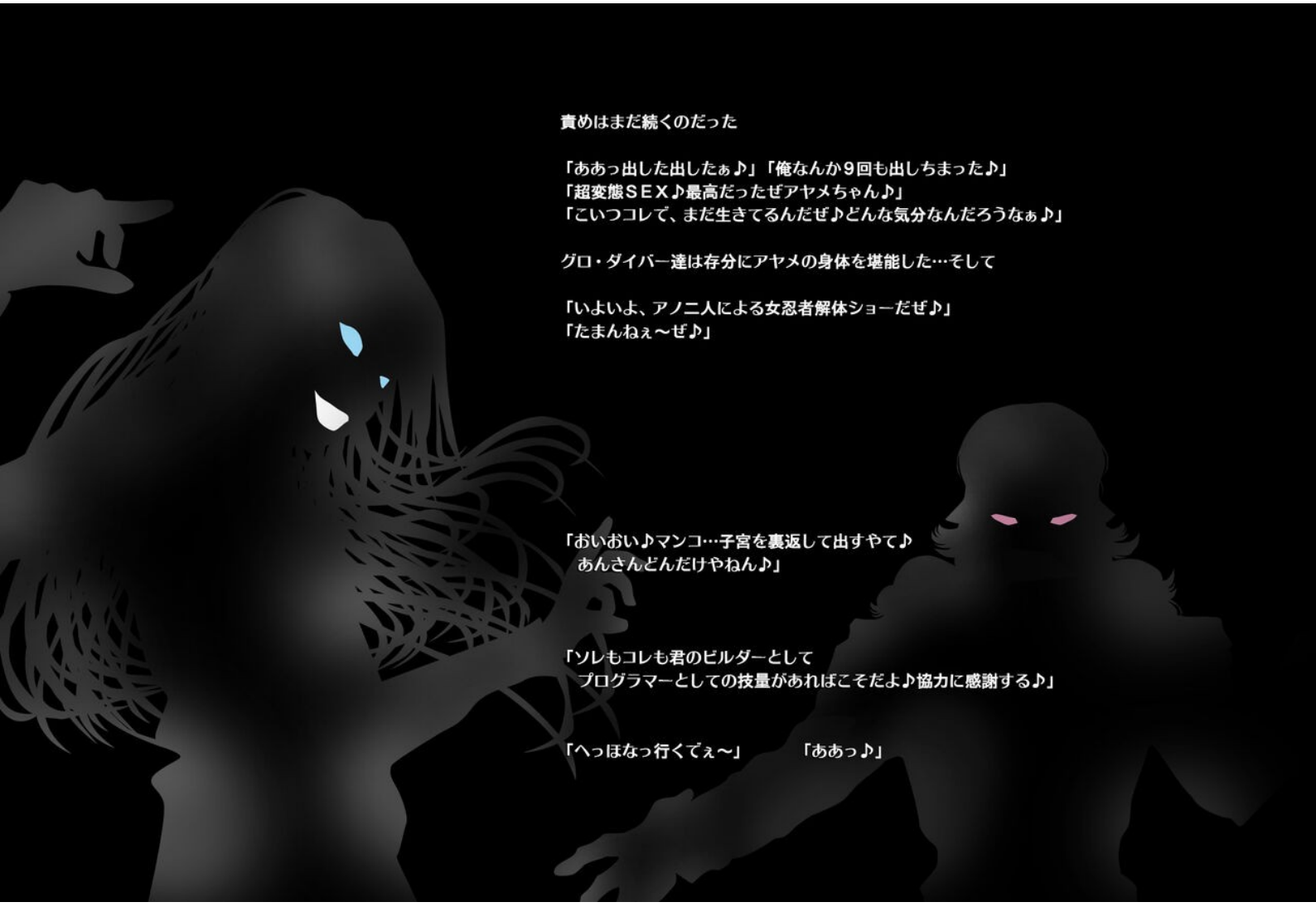
「んぐぅうううううううぅ!?」
（もう・・・・・・無理ぃ・・・・誰か・・・・・助けてぇ・・）

その感覚はＥＸ-Ｄの効果もあリアヤメに凄まじい快楽をもたらした…

結果、リアルの彼女も彼等グロ・ダイバー同様にコックピット内で
失禁し大量の愛液を垂れ流していた

その超変態ＳＥＸは凡そ12時間にも及んでいた
それは栄養無補給ダイブ…通称：無酸素ダイブの臨界点だった


アヤメは完全に失神していた
だが、これで終わるはずも無く…


責めはまだ続くのだった
「ああっ出した出したぁ♪」「俺なんか９回も出しちまった♪」
「超変態ＳＥＸ♪最高だったぜアヤメちゃん♪」
「こいつコレで、まだ生きてるんだぜ♪どんな気分なんだろうなぁ♪」
グロ・ダイバー達は存分にアヤメの身体を堪能した…そして
「いよいよ、アノ二人による女忍者解体ショーだぜ♪」
「たまんねぇ～ぜ♪」
「おいおい♪マンコ…子宮を裏返して出すやて♪
あんさんどんだけやねん♪」
「ソレもコレも君のビルダーとして
プログラマーとしての技量があればこそだよ♪協力に感謝する♪」
「へっほなっ行くでぇ～」
「ああっ♪」

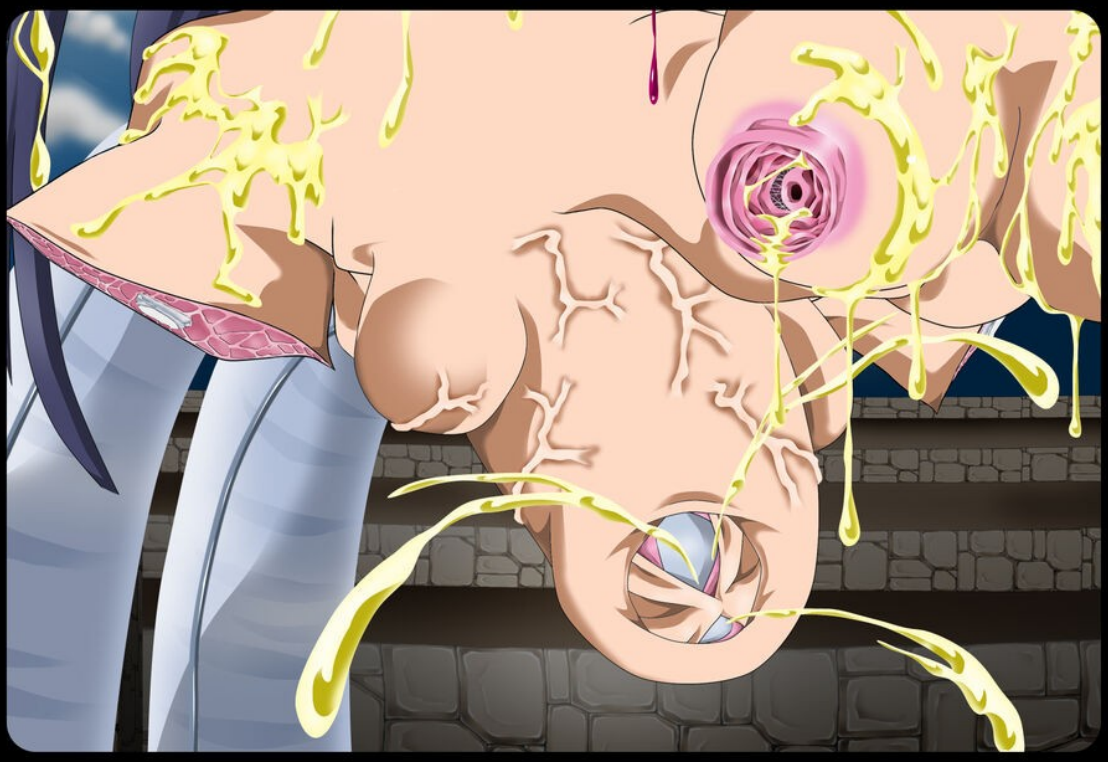

「ひぎゃぁあああああぁ～何ぃ!?」
失神していたアヤメが飛び起きた

「ぐぇえええええぇ～!?」

アヤメが人ならざる悲鳴を上げ悶絶した

マンコに再び超巨大ディルドウが
挿入されたからだ…





ソレは
子宮内にまで進入し
射精？した

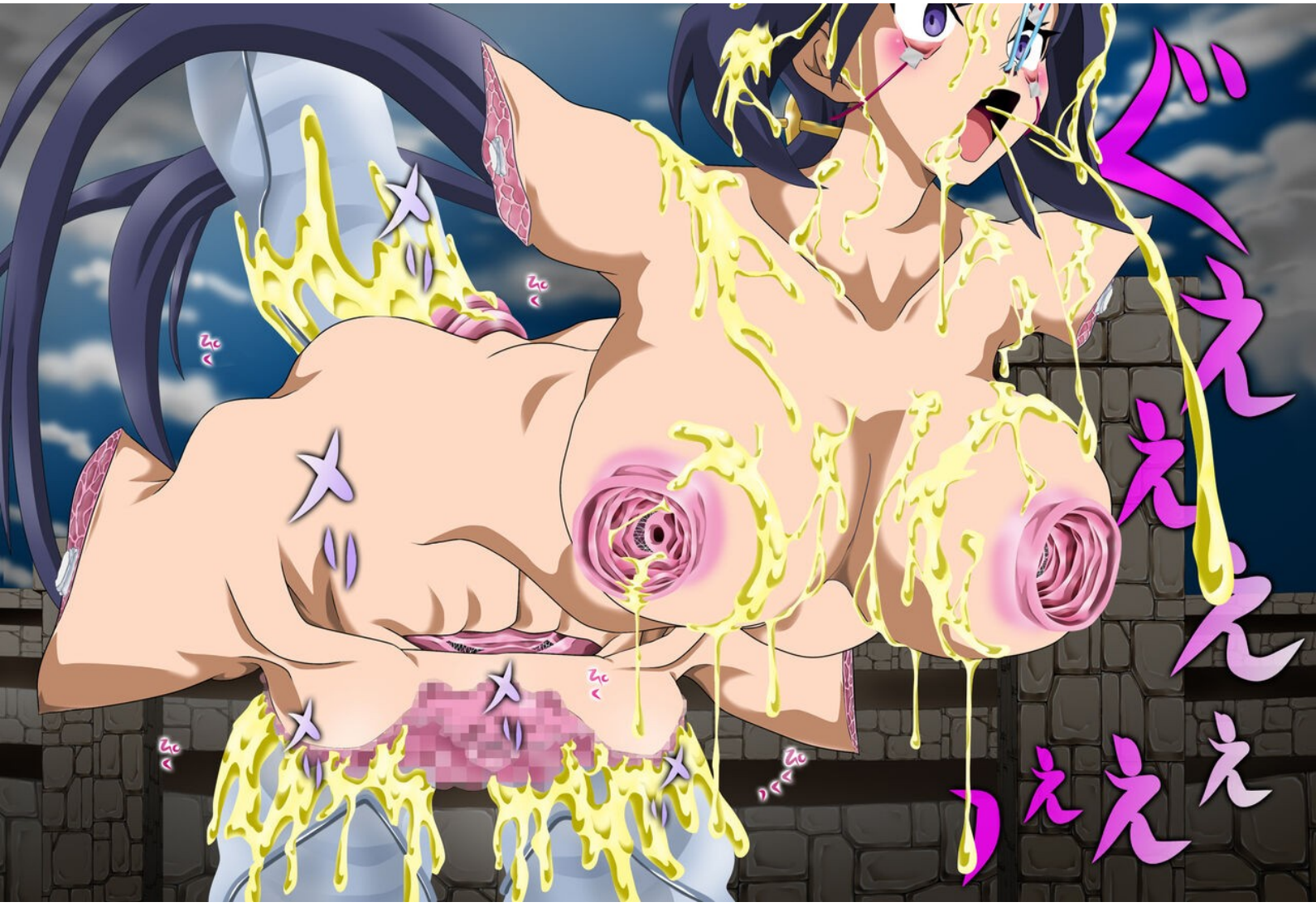
射精と言っても
精子ではない

スライム状の液体を
大量放出し…
内壁に固着させたのだった

そして…

ソレは、ゆっくりと
引き出された

アヤメのマンコと
共に…


ぐえええええ


「スゲェ～♪オ…オマンコがぁ!?」
「全部っ出ちまったぁ～♥」

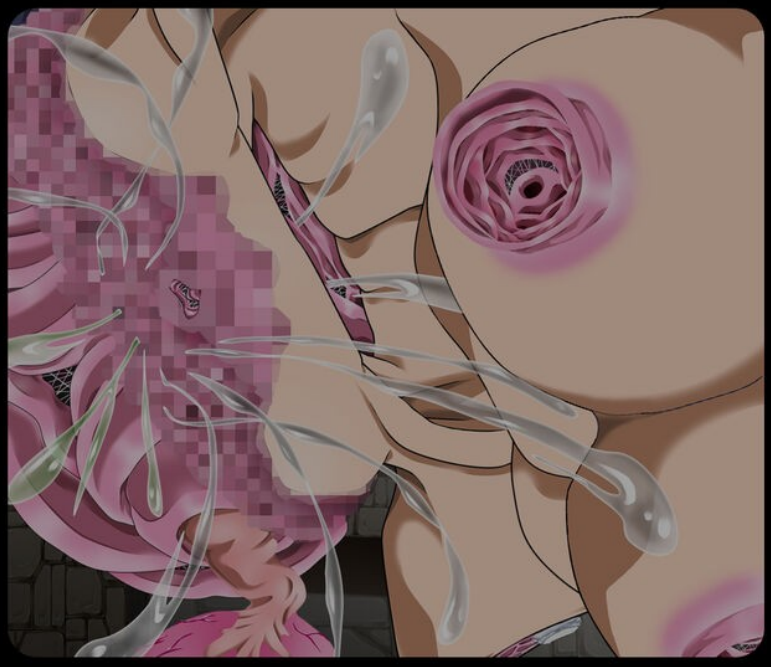

あ あ あ
あ あ あ あ あ
「マンコだけじゃねぇ♪顔面も崩壊だぁ～♥」
「美少女がボロボロだぜぇ～♥♥♥」

「はぁ…逝ぐぅ…誰か…助けれぇ…」

「スゲェ～♪まだ生きて逝ってやがる♥」「コレがＭｒ＆マイスターの競演か～♪」

「あああ…あああぁああ…あああぁ……」

「正に芸術だぁ～♥♥♥」





「どやっ♪コレが
ワイらの答えや～♪」

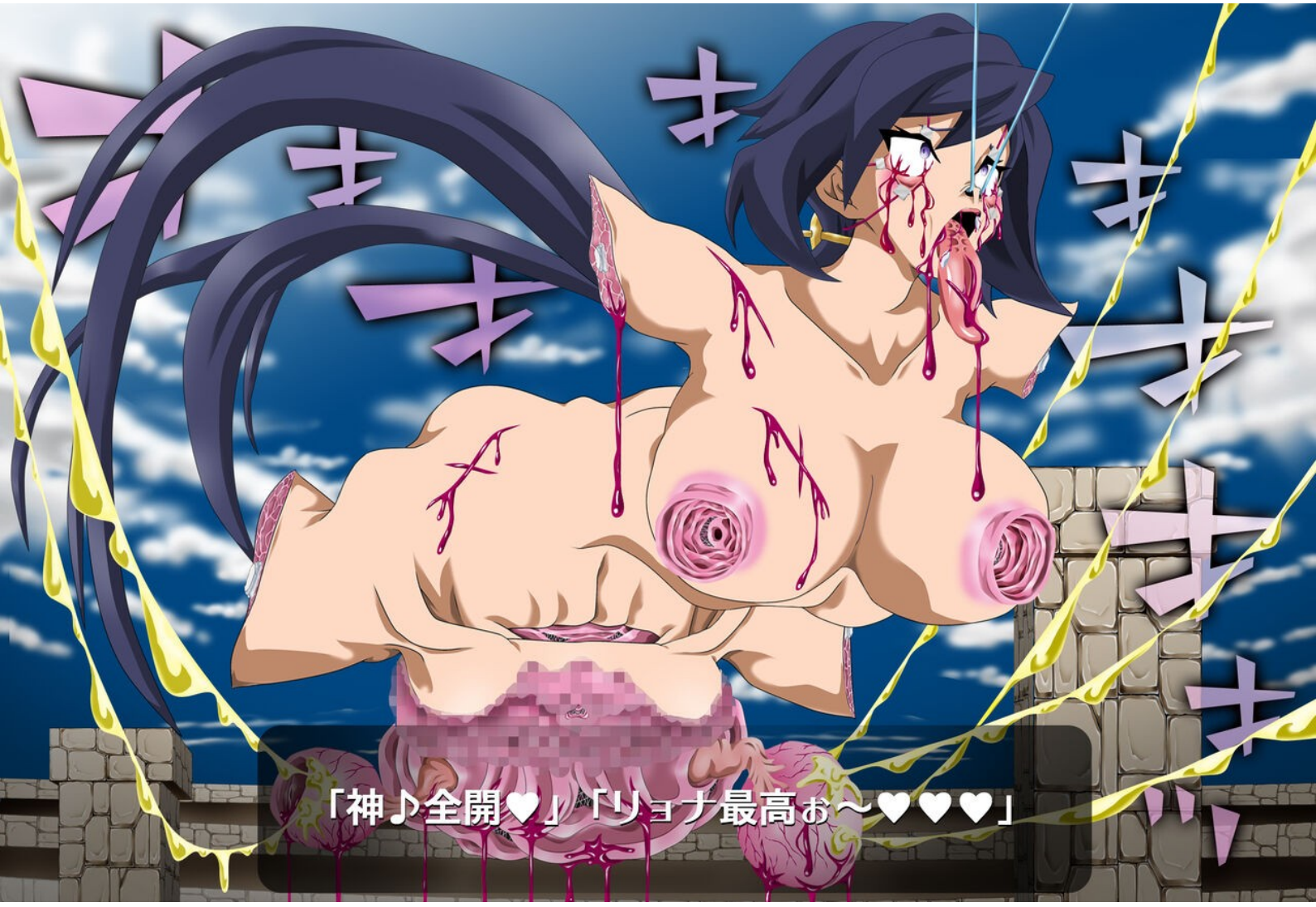
「いやっ君のだろ…
私は関係ない
器にすぎない…」

「あっ責任転嫁する気か
ずっこいぞテメェ～」

「伝説の二人の掛け合いだぁ～♪」

「うおおおおおおぉおっ♪」

アヤメ拷問は大盛況の内にその幕を閉じたのだった


「神♪全開♥」「リョナ最高ぉ～♥♥♥」

運営の密偵だったアヤメも退け当分ＥＸ-Ｄ（エクスタシーデカール）はＧＢＮ内で
猛威を振るうと思われた…が、思わぬ事態が発生しソレは自滅した

副作用があったのだ
使用して快楽を得たグロ・ダイバーの首謀者二人が機能不全になり
再起不能でＧＢＮを去ったとの噂が流れたのだった

事実アレ以来、二人のログインは確認されなかった
二人は伝説となり消えたのであった
「これが運命というモノか…」　「アホカ～そんなモンになりとうないわぁ～」

コレにビビッてグロ・ダイバー達はＥＸ-Ｄの使用を自主規制したのだった
（一般のエロ・ダイバーもコレに習った…）
こうしてエロ・ダイバーの自滅によってだが、ＧＢＮには平穏が戻ったのだった

□■

だが、一部リアルの世界で問題は継続していた…（自業自得の変態はどうでもいいとして）
「コラァ～何でやぁ～」
そうっ後遺症に悩むモノは他にもいたのだった


「アヤさん♪私達もう…普通のＳＥＸじゃ…」
「モモカァ♪満足できない身体なのよね…」


「誰かぁ♪誰でもいいのぉ♪
私達のオマンコ、ぐちゃぐちゃにしてくださいぃ～♪」
「連絡待ってまぁ～す♪」


はぉぉんっ
まぁぁぁんっ
「逝くぅうううううぅ～♥」(≧▽≦)/
彼女達は今日もＳＥＸダイブ・ビルダーズとして…リョナで鬼畜な
ご主人様を求め彷徨うのであった
おわり


Thank you very much
企画/監修：春画屋麿。
イベント日：2018/10/07
BOOTH頒布開始日：2018/11/01
製作/発行　18禁同人製作工房 KAKInoBOO
制作：レーベル PCee II ピーシーズ
当サークルへの感想等は　下記の枠ノ本数館のＨＰへお願いします
kaki-pee.com
kakipee2006@yahoo.co.jp
著者および発行者の許可なく本誌の一部および全部を転載 複製することを禁じます。
本書は 成人向けです。18歳未満の方の購入はお断りします。



なお、この作品は実在の人物、サークル等とはまったく
関係ございません全てフィクションです

あしからずw


Presented by PCee II for adult only
SEX
ダイブ
ビルダーズ
-SEX DIVE BUILDERS-
18
FIN


さら









